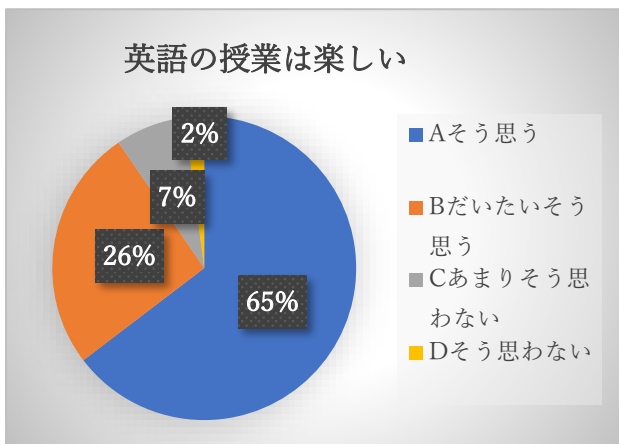


## 下諏訪北小学校 英語活動、英語教育について

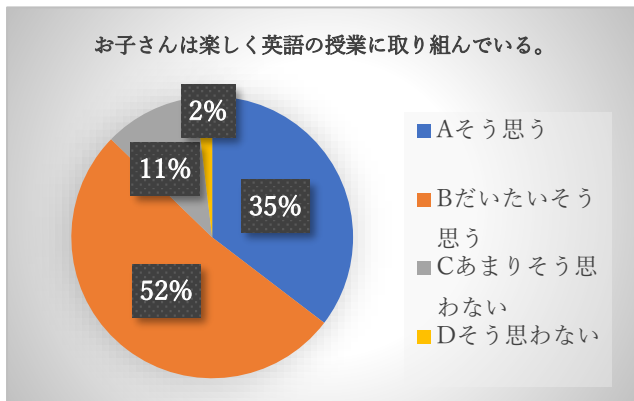
### 1 「児童の自己評価」 について



令和5年度に3年生以上の児童に実施したアンケートでは、「英語の授業が楽しい」と感じている児童が、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて91%となり、ほぼ9割の児童が英語が楽しいと感じています。アンケートの記述回答を見ると、「楽しい」の中身は2通りに分かれています。英語そのものの楽しさを感じる場面としては、「英語でいろいろな人と話せたら嬉しいから」「知らなかった単語を覚えられて、たくさんの言葉を学べるから」などがあげられています。また、授業の楽しさを感じる場面として

では、様々な英語を使ったゲームや歌、クイズなど、興味・関心をひく工夫された授業内容への魅力があげられています。英語専科教師及びELTの丁寧な授業準備と綿密な打ち合わせ、授業時には授業の児童に分かるようにめあてが明確に示されていることの効果だと考えます。一方で9%の児童が「楽しい」と思えない理由としては、「英語で話すことは難しい。」「うまく言えないと恥ずかしい。」などの意識が伺えます。個々に得意不得意はありますが、友だちと一緒に学ぶことで、「分かる」「できる」「もっとやってみよう」の気持ちが高まることを目指していきます。

### 2 「保護者評価」 について



令和5年度の保護者に実施したアンケートでは、学校で「お子さんは楽しく英語学習に取り組んでいる」と感じている保護者が「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて87%となり、児童と同じくほぼ9割の保護者が自分のお子さんが楽しく英語を学習していると感じています。英語の歌を口ずさんだり、テレビ等から聞こえる英語に関心を持つ姿からそのようにとらえている様子が伺えます。一方で、楽しく学習しているとは感じていない保護者が13%

となっています。保護者の方にも実際の英語学習の様子を知っていただきたいと考え、令和5年度は通常の参観日とは別に、2, 4, 6年生で普段の授業の様子を見ていただく英語参観日を実施しました。学級通信や学校だよりなどでも、児童の英語学習の様子を保護者の方にお伝えできるよう努めています。

### 3 「関係者評価」 について

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、様々な規制が緩和され、地域の皆様や諸関係者の皆様にご来校いただく機会が増えました。6年の英語参観では、英語専科とELTの授業を参観していただくこともできました。また、11月には担任とELTによる低学年授業の様子も公開し、教師の研修の場をもちました。指導者の「Nice!」や「Good job!」などの声かけが、児童の自信ややる気にもつながる様子が見られています。様々な活動を楽しみながら、コミュニケーション、聞く・話す等、表現力の向上につなげていけることも目指していきたいと考えています。

今後も「児童」「保護者」「関係者」評価を日々の授業指導に生かすように取り組んで参ります。